国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure,
Transport and Tourism

記者発表資料

令和　８年　７月２４日
福島河川国道事務所

ふるさとの川「荒川」
１６年連続「水質が最も良好な河川」に！
～令和７年の国土交通大臣管理区間の河川水質調査結果から～

国土交通省では、昭和 33 年（東北地方：昭和 35 年）から一級河川（大臣管理区間）において水質調査を実施しています。令和７年(1 月～12 月)の水質調査結果が発表(７月２４日)され、荒川が１６年連続で「水質が最も良好な河川」になりました。

【水質調査対象河川の条件と評価基準】

■全国の１６０河川のうち、以下の条件を満たす河川を対象とします。
- ・一級河川本川：国土交通大臣管理区間に調査地点が２つ以上ある河川。
- ・一級河川支川：国土交通大臣管理区間の延長が概ね１０ｋｍ以上で、かつ調査地点が２つ以上ある河川。

荒川：直轄管理区間延長 13.0 km、荒川橋と信夫橋の２地点で調査。

■各調査地点での BOD(生物化学的酸素要求量)の年平均値及び７５%値の平均値が 0.5mg/ℓ(環境省が定める BOD の報告下限値)である河川を、「水質が最も良好な河川」としています。

荒川の BOD 年平均値　　R7：　０．５mg/ℓ　　（ R6：　０．５mg/ℓ）

荒川の BOD７５%値　　R7：<０．５mg/ℓ　　（ R6：<０．５mg/ℓ）

※BOD(生物化学的酸素要求量)とは、水のよごれを表す指標の一つで、河川水に含まれる微生物が水中のよごれを分解する際に消費した酸素の量。

※BOD７５%値とは、測定データを値が小さい(水質が良好)方から並べ、0.75×データ数番目(整数でない場合は切り上げ)の値(例えば、BOD を毎月１回測定していた場合、水質の良い方(値の小さい方)から数えて 0.75×12＝９番目の値が７５%値となります。)

※１６年連続での「水質が最も良好な河川」の維持は、流域の皆様の河川愛護意識の高揚、官民一体での水質改善への取り組みの成果と考えられます。引き続き、ご協力等お願いします。

※同日付で、国土交通本省（全国版）・東北地方整備局においても記者発表を実施しています。

＜＜発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ ＞＞

＜ 問い合わせ先 ＞
国土交通省　東北地方整備局　福島河川国道事務所
住　所：福島市黒岩字榎平３６番地
ＴＥＬ：０２４（５３９）６１２９
河川管理課長　遠藤（えんどう）　盛茂（もりしげ）（内線３３１）

主要河川の地点別年平均水質

令和７年水質調査結果

・東北地方整備局管内の直轄管理区間において、「生活環境の保全に関する環境基準」のうち、ＢＯＤの値の平均値と７５%値を評価しています。

・阿武隈川水系荒川が１６年連続で「平均的な水質（ＢＯＤ値）が最も良好な河川※」となりました。

令和７年の東北地方 20 河川の水質状況

：報告下限値未満(0.5 未満)　：報告下限値(0.5)

（単位：mg/l）

水系名	河川名	調査地点	平均値	75%値	県名	地点数
阿武隈川	阿武隈川	黒岩	1.8	2.0	福島	7
		高田橋	2.3	2.6	福島	
		須賀川	1.1	1.2	福島	
		阿久津	1.1	1.4	福島	
		伏黒	1.2	1.4	福島	
		岩沼	1.0	1.1	宮城	
		丸森	1.5	1.6	宮城	
阿武隈川	荒川	荒川橋	0.5	< 0.5	福島	2
		信夫橋	0.5	< 0.5	福島	
名取川	名取川	閖上大橋	0.9	0.9	宮城	2
		名取橋	1.2	1.3	宮城	
鳴瀬川	鳴瀬川	小野	1.2	1.2	宮城	4
		南郷	1.1	1.4	宮城	
		下中ノ目	1.0	1.2	宮城	
		三本木	1.0	1.1	宮城	
鳴瀬川	吉田川	鹿島台	1.8	1.9	宮城	2
		落合	1.7	1.8	宮城	
北上川	北上川	飯野川橋	1.6	2.1	宮城	16
		飯野川	1.1	1.2	宮城	
		登米	0.8	1.0	宮城	
		大泉	0.9	1.1	宮城	
		金ヶ崎橋	1.0	1.1	岩手	
		藤橋	0.9	0.9	岩手	
		船田橋(2)	0.6	0.7	岩手	
		紫波橋	0.9	1.0	岩手	
		珊瑚橋	1.1	1.2	岩手	
		狐禅寺	1.2	1.3	岩手	
		朝日橋	1.0	1.3	岩手	
		昭和橋	1.0	1.1	岩手	
		四十四田ダム下流	0.8	0.8	岩手	
		南大橋	0.6	0.6	岩手	
		北上川橋	1.1	1.4	岩手	
		北上大橋	1.1	1.4	岩手	
北上川	旧北上川	鹿又	1.1	1.1	宮城	3
		門脇	0.8	0.9	宮城	
		和渕	1.0	1.2	宮城	
北上川	江合川	轟	0.6	0.8	宮城	4
		荒雄	0.9	1.0	宮城	
		短台	1.0	1.1	宮城	
		大深沢	0.6	< 0.5	宮城	
北上川	和賀川	山室橋	0.7	0.6	岩手	3
		切留	0.5	< 0.5	岩手	
		九年橋	0.8	0.9	岩手	
北上川	猿ヶ石川	谷内	0.6	0.7	岩手	3
		落合橋	0.7	0.8	岩手	
		安野橋	1.0	1.3	岩手	

水系名	河川名	調査地点	平均値	75%値	県名	地点数
北上川	胆沢川	望み大橋	0.5	< 0.5	岩手	3
		再巡橋	0.8	0.9	岩手	
		下嵐江	0.5	0.5	岩手	
馬淵川	馬淵川	櫛引橋	0.8	0.9	青森	3
		尻内橋	0.8	0.8	青森	
		大橋	0.8	0.9	青森	
岩木川	岩木川	鶴寿橋	1.5	1.8	青森	12
		鳥谷川河口	1.1	1.1	青森	
		神田橋	1.1	1.3	青森	
		津軽大橋	1.1	1.1	青森	
		十三湖大橋	0.8	0.8	青森	
		幡龍橋	1.2	1.5	青森	
		山田川河口	1.9	2.5	青森	
		安東橋	0.6	0.7	青森	
		十三湖中央	1.9	2.7	青森	
		乾橋	1.4	1.8	青森	
		上岩木橋	0.7	0.8	青森	
		三好橋	1.3	1.5	青森	
米代川	米代川	鷹巣	0.8	0.9	秋田	5
		能代	0.6	0.6	秋田	
		新真中橋（真中橋）	0.7	0.8	秋田	
		十二所	0.6	0.5	秋田	
		二ツ井	0.7	0.8	秋田	
雄物川	雄物川	雄物川橋	0.6	0.7	秋田	5
		酒蒔橋	0.6	0.5	秋田	
		椿川	0.6	0.6	秋田	
		岳見橋	0.7	0.7	秋田	
		大曲橋	0.8	0.9	秋田	
雄物川	玉川	長野	0.5	< 0.5	秋田	2
		玉川橋	0.6	0.5	秋田	
子吉川	子吉川	本荘大橋	0.7	0.9	秋田	2
		宮内	0.6	0.7	秋田	
最上川	最上川	高屋	0.7	0.8	山形	8
		長井橋（小出）	0.9	1.0	山形	
		谷地橋（下野）	0.7	0.9	山形	
		糠野目	1.1	1.7	山形	
		碁点橋（稲下）	0.7	0.8	山形	
		砂越	0.8	0.9	山形	
		堀内	1.8	2.0	山形	
		両羽橋	0.8	0.8	山形	
最上川	鮭川	戸沢橋	0.7	0.7	山形	2
		八千代橋	0.6	0.6	山形	
赤川	赤川	蛾眉橋（横山）	0.7	0.9	山形	3
		東橋	0.5	< 0.5	山形	
		新川橋（浜中）	0.7	0.8	山形	

表中のくは、定量下限値であることを示す。

※「平均的な水質が最も良好な河川」の定義
対象河川のうち以下の両方を満たす河川
・各調査地点の BOD 年平均値について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/ℓ
・各調査地点の BOD75%値について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/ℓ　（0.5mg/ℓ：環境省の定める BOD の報告下限値）
（対象河川）
・一級河川（本川）：直轄管理区間に調査地点が２以上ある河川
・一級河川（支川）：直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が２以上ある河川

科学的調査

令和７年水質調査結果

公害問題が顕在化してきた昭和 40 年代以降、水質汚濁が進み、「汚い、臭い、遊べない」といわれる河川が全国に多くありました。国土交通省が河川の水質について、年単位（1 月～ 12 月）でのとりまとめを始めた昭和 46 年当時、BOD 平均値が 5.0mg/ℓを超え、水質改善が急務であった地点は、一級河川の全調査地点の 27%を占めていました。

しかし、このような一級河川の水質も、これまでの排水規制、下水道整備、河川浄化事業等の推進により徐々に良くなっています。例えば、昭和 40 年代の多摩川は水質悪化が進み、洗剤の泡が浮く汚れた河川でした。昭和 50 年代後半には、アユの遡上が確認されるまでに水質が良くなり、近年では、大量のアユが毎年遡上するまでになっています。また、綾瀬川や大和川は、昭和 40 年代の都市化の進展に伴う水質汚濁が著しく、BOD 値が 30mg/ℓを超えていましたが、水質改善の取組みにより確実に良くなりました。特に大和川では、令和 7 年の代表地点の BOD75% 値が 1.5mg/ℓとなり、アユの遡上も確認されるようになっています。

こうした水質改善の背景には、排水規制や下水道整備のみならず、各地域や家庭での生活排水の汚れを減らす取組みや、流域でのクリーン活動等の啓発活動といった、流域の人々の様々な活動があります。これからも水質を維持・改善していくためには、このような各地域における努力を持続・発展させることが重要です。

昭和４２年



現在の様子（令和７年度）



大和川（西除川合流点）



科学的調査

THE BEST 13 河川

水質が最も良好な河川 2025

令和 7 年の平均的な水質（BOD 値）が最も良好な河川は以下のとおりです。

BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な河川）

地方名	河川名			調査地点の都道府県名
北海道	後志利別川	シリベシトシベツガワ	後志利別川水系	北海道
北海道	渚滑川	ショコツガワ	渚滑川水系	北海道
北海道	沙流川	サルガワ	沙流川水系	北海道
北海道	札内川	サツナイガワ	十勝川水系	北海道
東北	荒川	アラカワ	阿武隈川水系	福島県
中部	宮川	ミヤガワ	宮川水系	三重県
近畿	北川	キタガワ	北川水系	福井県
中国	小鴨川	オガモガワ	天神川水系	鳥取県
中国	高津川	タカツガワ	高津川水系	島根県
中国	天神川	テンジンガワ	天神川水系	鳥取県
四国	仁淀川	ニヨドガワ	仁淀川水系	高知県
九州	川辺川	カワベガワ	球磨川水系	熊本県
九州	五ヶ瀬川	ゴカセガワ	五ヶ瀬川水系	宮崎県

【「水質が最も良好な河川」の定義】

対象河川である 160 河川のうち、以下の両方を満たす河川。

- 対象河川の各調査地点の BOD 年間平均値について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/ℓ※1
- 対象河川の各調査地点の BOD75% 値※2 について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/ℓ

※1：環境省の定める BOD の報告下限値（0.5 mg/ℓ）
※2：測定データを値が小さい（水質が良好）方から並べ、0.75 ×データ数番目（整数ではない場合は切り上げ）の値（例えば、BOD を毎月 1 回測定していた場合、水質の良い方（値の小さい方）から数えて 0.75 × 12 ＝ 9 番目の値が 75% 値となります。）

＜対象河川＞
- 一級河川（本川）：直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川
- 一級河川（支川）：直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川

※湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。

科学的調査

水質が最も良好な河川
2016 - 2025

平成 28- 令和 7 年水質調査結果

2016-2025 年（平成 28- 令和 7 年）の 10 年で、
4 回以上「水質が最も良好な河川」となった河川（19 河川）を紹介します

星印：「水質が最も良好な河川」となった年
（西暦下 2 桁）

16 17 18 19 20
21 22 23 24 25

尻別川（シリベツガワ）
（尻別川水系）
北海道
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

後志利別川（シリベシトシベツガワ）
（後志利別川水系）
北海道
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

沙流川（サルガワ）
（沙流川水系）
北海道
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

玉川（タマガワ）
（雄物川水系）
秋田県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

天神川（テンジンガワ）
（天神川水系）
鳥取県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

荒川（アラカワ）
（阿武隈川水系）
福島県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

黒部川（クロベガワ）
（黒部川水系）
富山県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

小鴨川（オガモガワ）
（天神川水系）
鳥取県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

北川（キタガワ）
（北川水系）
福井県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

高津川（タカツガワ）
（高津川水系）
島根県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

安倍川（アベカワ）
（安倍川水系）
静岡県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

球磨川（クマガワ）
（球磨川水系）
熊本県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

宮川（ミヤガワ）
（宮川水系）
三重県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

熊野川（クマノガワ）
（新宮川水系）
和歌山県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

仁淀川（ニヨドガワ）
（仁淀川水系）
高知県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

五ヶ瀬川（ゴカセガワ）
（五ヶ瀬川水系）
宮崎県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

四万十川（しまんとがわ）
（渡川水系）
高知県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

川辺川（カワベガワ）
（球磨川水系）
熊本県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

小丸川（オマルガワ）
（小丸川水系）
宮崎県
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25